

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	スーパー フロンティア	地理歴史	世界史B	文系	選択	4

講座のねらい

3年次では、2年次の内容に続き、近・現代の歴史を学習します。産業革命によって本格的な資本主義社会が到来、フランス革命による自由、平等など人権観念の発達、国民主権がすすむ中でヨーロッパ近代国民国家が築かれていきました。19世紀から20世紀にかけては、こうした状況でヨーロッパ列強が強力な政治・経済また軍事力を背景に海外進出を強める帝国主義政策をおこないます。それにアジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域はまきこまれ、抵抗し、対抗していきます。人類は大きな競争と闘争の中で、2度の世界大戦を経験、米ソ冷戦の時期を乗り越えて、今日の世界が築かれていきます。こうした歴史の経過をしっかりと学習します。

もちろん入試に向けて、知識・理解の定着と向上を目指します。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）

資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）

学習ノート 『要点マスター世界史B 整理ノート』（東京書籍）

問題集 『総合マスター 世界史B』（浜島書店）

授業の内容と進め方

教科書の記述に沿って授業を進めていきます。授業を補完したり発展的に進めるために資料集を使用します。いくつかの項目については、プリントや視聴覚教材などを用い、興味、関心がわくよう工夫します。

定期考査や校外模試（実力考査）の対策として、小テストや問題演習を行い、用語理解の定着をはかります。入試に備え、1・2年次に学習したことも併せて、復習を繰り返すことが肝要であり、そうしたことも考慮します。

講座の到達目標

1、歴史の知識を多く獲得することで、社会に対して関心を広げ、また高め、そして深く考えることで、生徒の将来に有為となるようします。

2、間近に迫る大学入試や自身の目標に対して、到達しうる知識を身につけ、そうしたことへの意欲を高めます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主資料とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的に行います。ノート提出や小テストは適宜行います。定期考査は、教科書を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。

日々の努力が入試の場面で力を発揮します。定期考査では高得点をめざしてがんばってほしいと思います。

備考

講習では、1年を通じた平常講習と、夏期講習、冬のセンター講習などを予定しています。また3学期、個別には国公立大学の2次入試対策（論述演習）も行います。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

第14章、近世のヨーロッパ

- 2、オランダの繁栄と英仏の追い上げ
- 3、18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家
- 4、近世のヨーロッパの社会と文化第

15章 欧米における工業化と国民国家の形成

- 4 フランス革命とウィーン体制
- 5 社会変革の夢—新しい革命の波

第16章 産業資本主義の発展と帝国主義

- 1 欧米世界の秩序再編
- 2 欧米の経済発展と社会・文化の変容
- 3 帝国主義と世界秩序

第17章 アジア諸地域の变革運動

- 1 西アジアの改革運動
- 2 南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明
- 3 清の動揺と変貌する東アジア

第18章 世界戦争の時代

- 1 第一次世界大戦
- 2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編

2 学期 学習計画および学習内容

- 3 大戦後の合衆国とヨーロッパ
- 4 アジア・アフリカでの国家形成の動き
- 5 世界恐慌と国際対立の激化
- 6 第二次世界大戦

第19章 国民国家体制と東西の対立

- 1 アメリカ合衆国の覇権と冷戦の展開
- 2 アジア・アフリカ諸国の独立と「第三勢力」
- 3 戦後体制の動揺
- 4 世界の多極化とソ連の崩壊

終章 経済のグローバル化と新たな地域秩序

- 1 経済のグローバル化と地域統合
- 2 グローバル化への問いと新しい国際秩序
- 3 21世紀を生きる—地球的課題の時代

センター試験・私立大学入試対策（問題演習）

2次入試対策（論述問題演習）

3 学期 学習計画および学習内容